

早稲田大学 図書館紀要

第 47 号



流行と不易

浦川 道太郎

電子図書館が流行している。本学の一二五周年記念事業の一つにも、雑誌センターと並んで電子図書館の創造が掲げられている。

確かに、デジタル化された電子情報の急速な発展には、目を見張るものがある。この動きに対応できる能力を欠いては、これからの図書館としての機能を発揮できない。それゆえに、我々も、流行に乗り遅れることはできないであらう。

しかしながら、図書館の役割は、何時の時代も、利用者の求める情報を提供する点にあった。電子図書館というものも、情報媒体の変化に対応した一つの動きであり、この図書館の本質的な役割に変化を及ぼすものではない。その意味では、われわれは、流行を追うだけでなく、媒体の如何を問わず、研究・教育に真に必要な情報を選択・収集・整理・提供するという、不易な仕事を地道に続けねばなるまい。

2000 年 3 月